瀧澤清画

潜龍堂畫譜

魚類之部 上

彰[illegible][illegible]畫譜

754
.T3

潜龍堂画譜小言

厳元英が読叢に依て虎を画くに林木をもって
せざるを知る夫虎ハ飄嵐を挫れ避ることを常とす
飄嵐ハ多く深林の枝上に隠栖し林中虎の過るを
之れを必ず鳴噪して自己が毛を抜て虎の身に
投ずるに其毛處蟲蝕を生じ遍身瘡を生じ腐爛
して終に死に至る故に林木の中虎を画す画学れ
逸史虎を画くに平原曠野茅葦叢藪の中を
写ゆるとなす林木を作さるハ謂ある五雑俎に
虎林中に在る微禽と鳥噪る獣に花木を添るも

明治新鐫

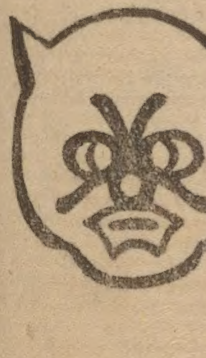
潜龍堂画譜

鮮斎之寫

其好憎の意を知らずして画く者筆勢は活潑なるも
越風に違つる處に似て死画といふを不可なず
潜龍堂の画法能その真に渉り画法全く
得るものと丹精を以て推すに可し則ち紫云と
記して序に換ゆ

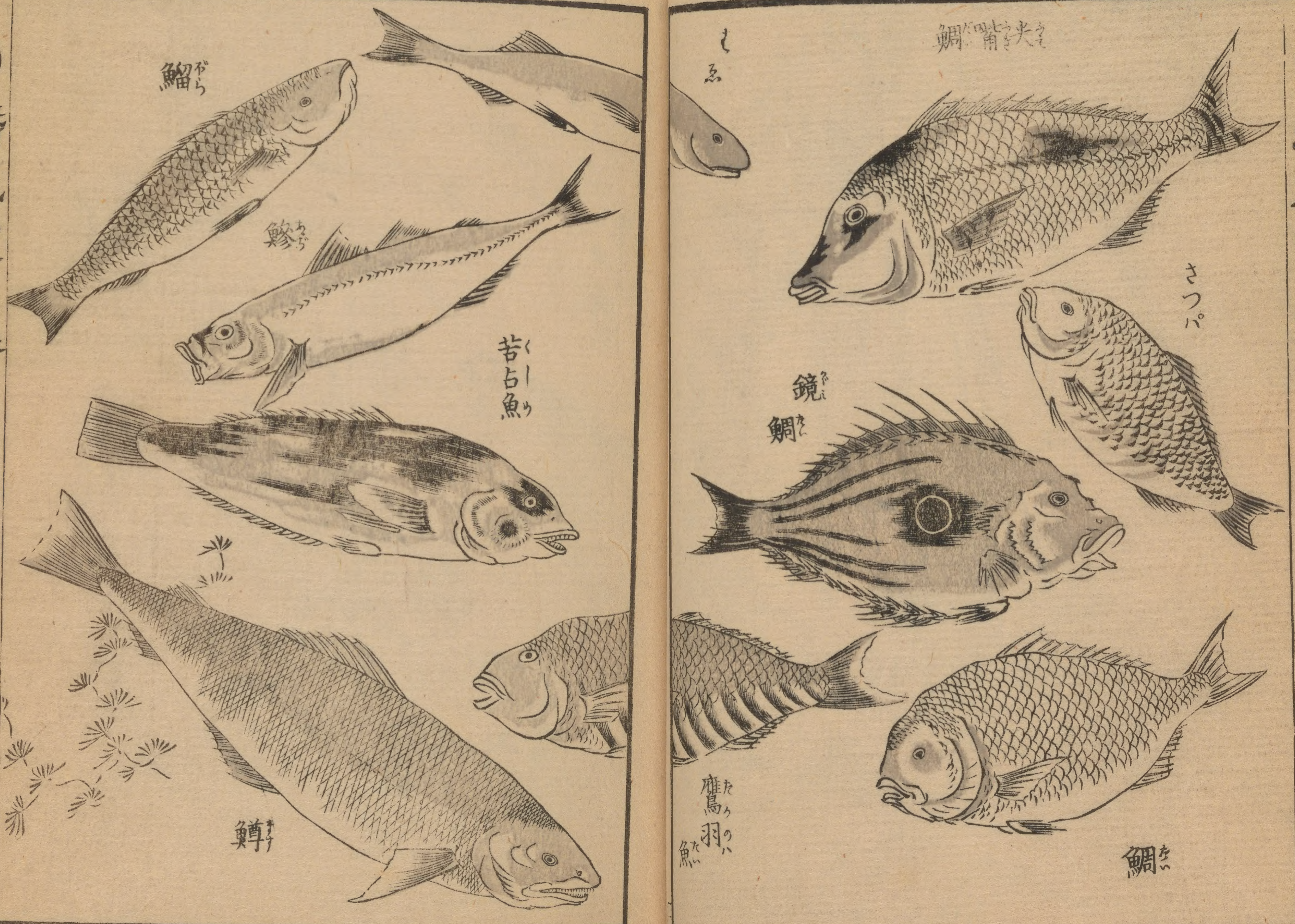
明治十二年極月念三日武総橋畔旧虎
新舗の書屋に記す

假名垣魯文漫題



渓齋堂画譜

永古堂蔵



[illegible]尾堂画譜

魚之部

永古堂蔵

魚之部

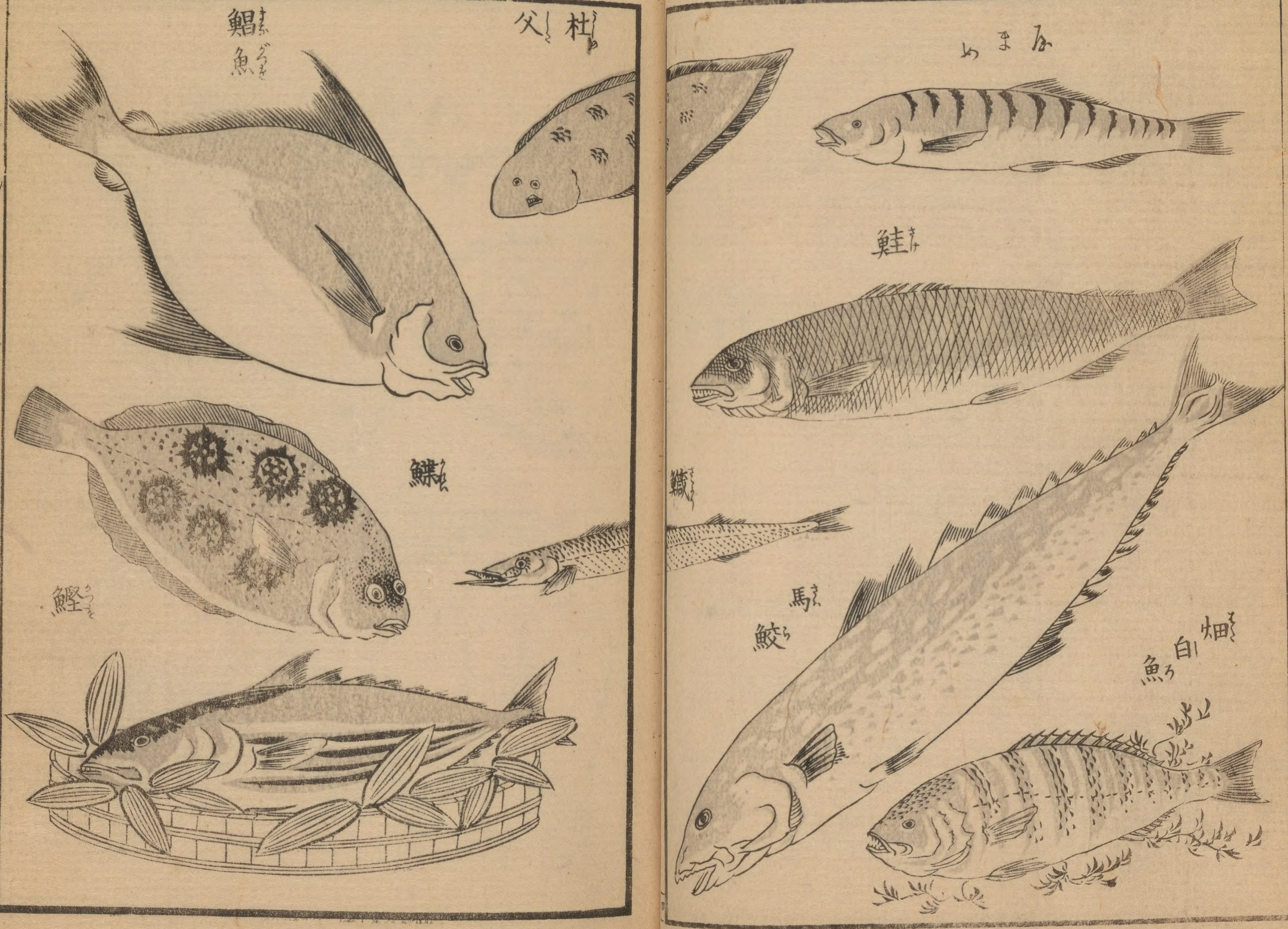
鱭魚
鮴
鮻
筋鯛
小鮗

錦魚
かつを
うを
馬鞭魚

潜龍堂画譜

魚之部

[illegible]古堂蔵



潜龍堂画譜

[illegible]古堂蔵

星魼
勒魚

魣
翻車魚
手長蝦
糸操鯛

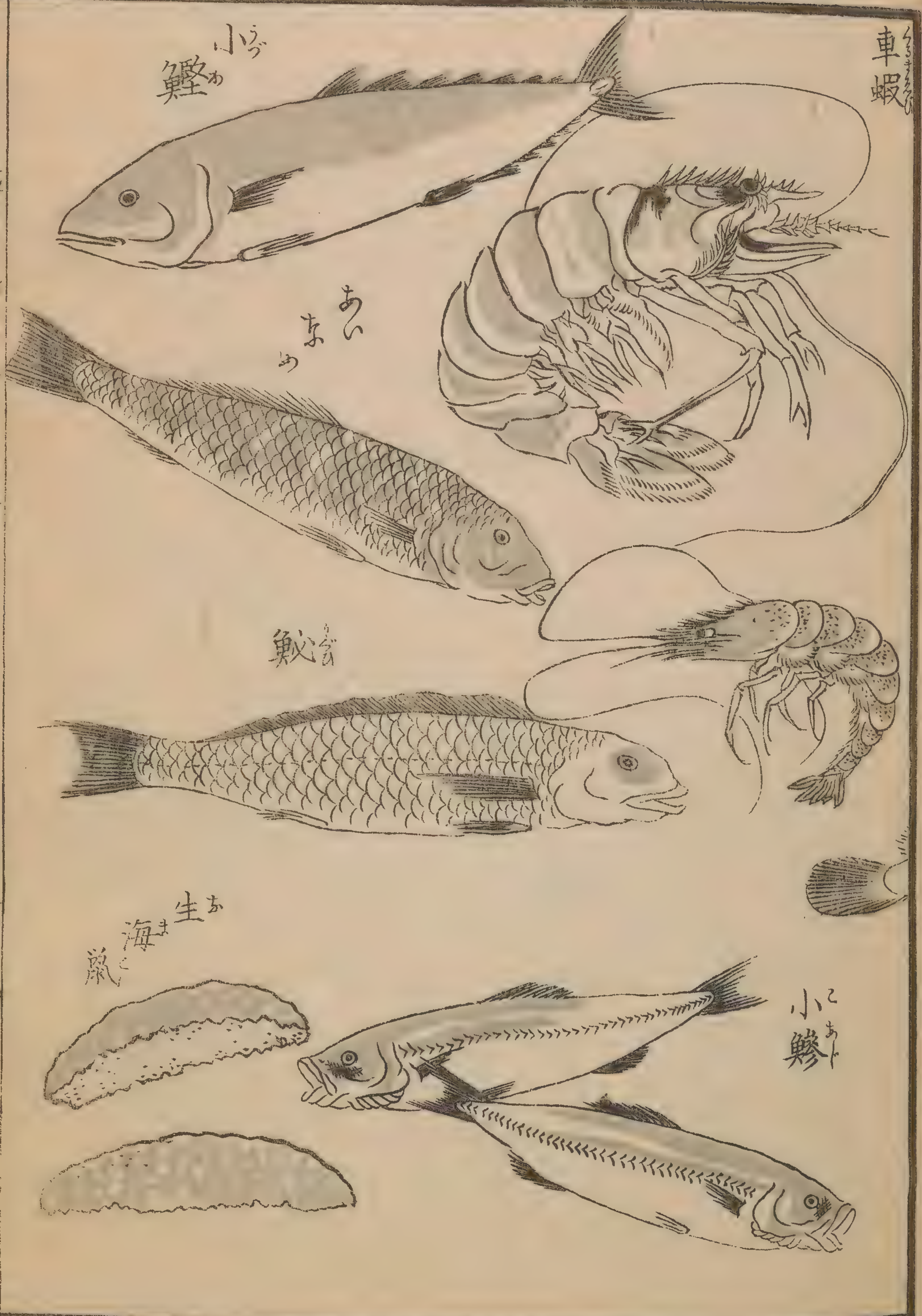
赤目河豚
せうさい
黄貂魚
鮟鱇

筋鯵
ぎち
鯒
状鮹
かさご

潛龍堂畫譜

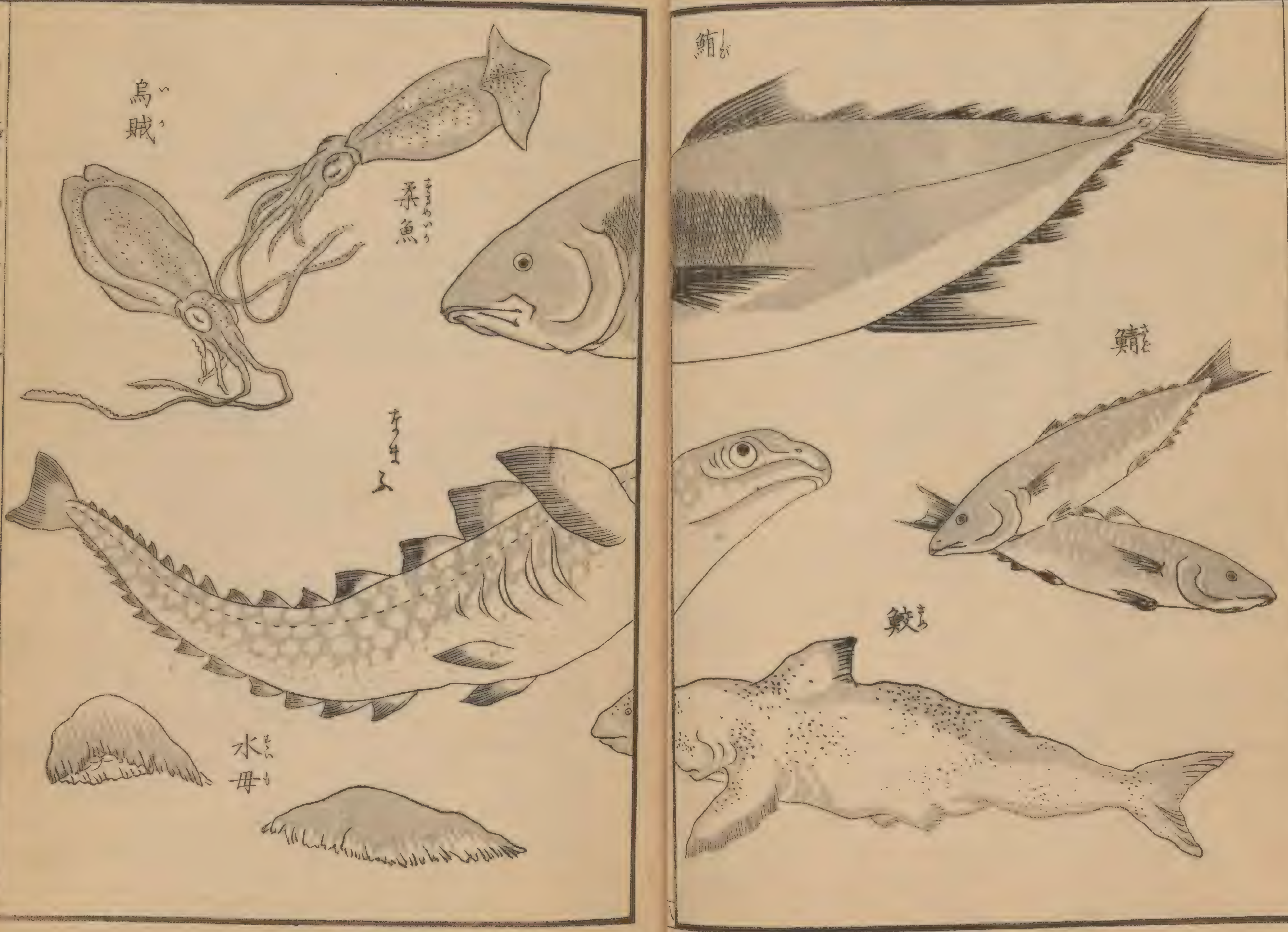
魚之部

求古堂藏



潛龍堂畫譜

求古堂藏


烏賊 いか
柔魚
水母
鮪 しび
鯖 さば
鮫 さめ

泥鰌
火魚
文鰩魚
章魚
鮒
たなご
鮎
鰻

潛龍堂畫譜

文石堂藏

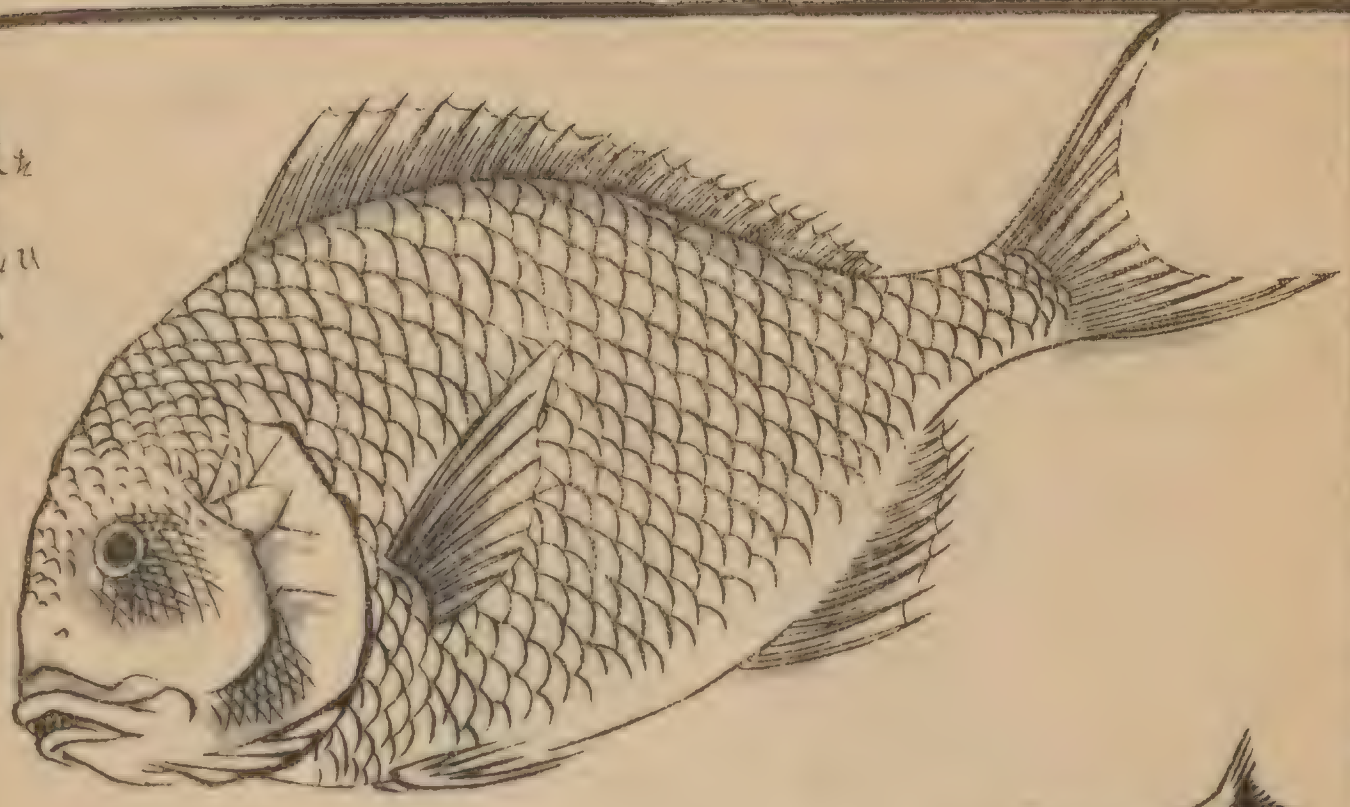
潛龍堂畫譜

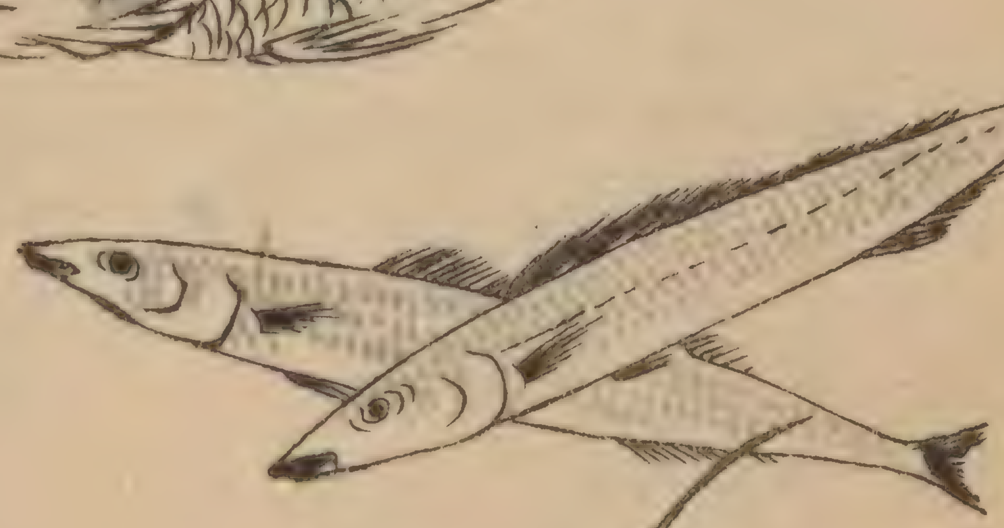
魚之部

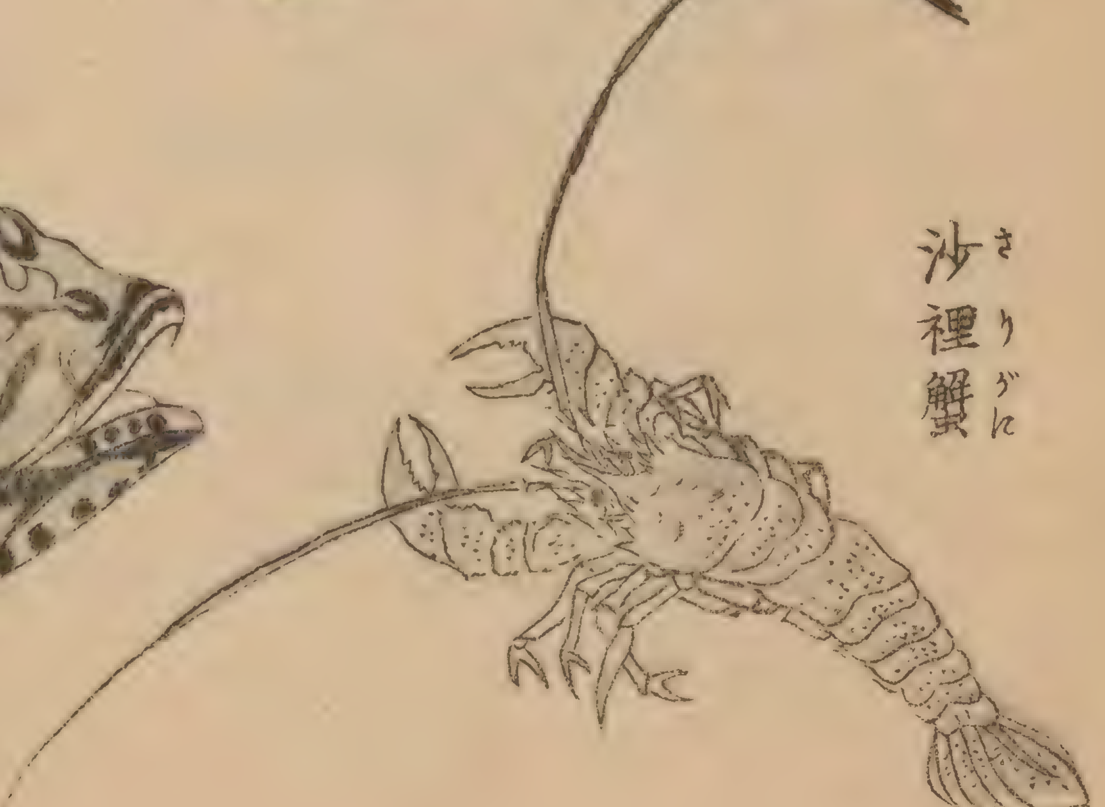
文石堂藏

海牛（うみうし）

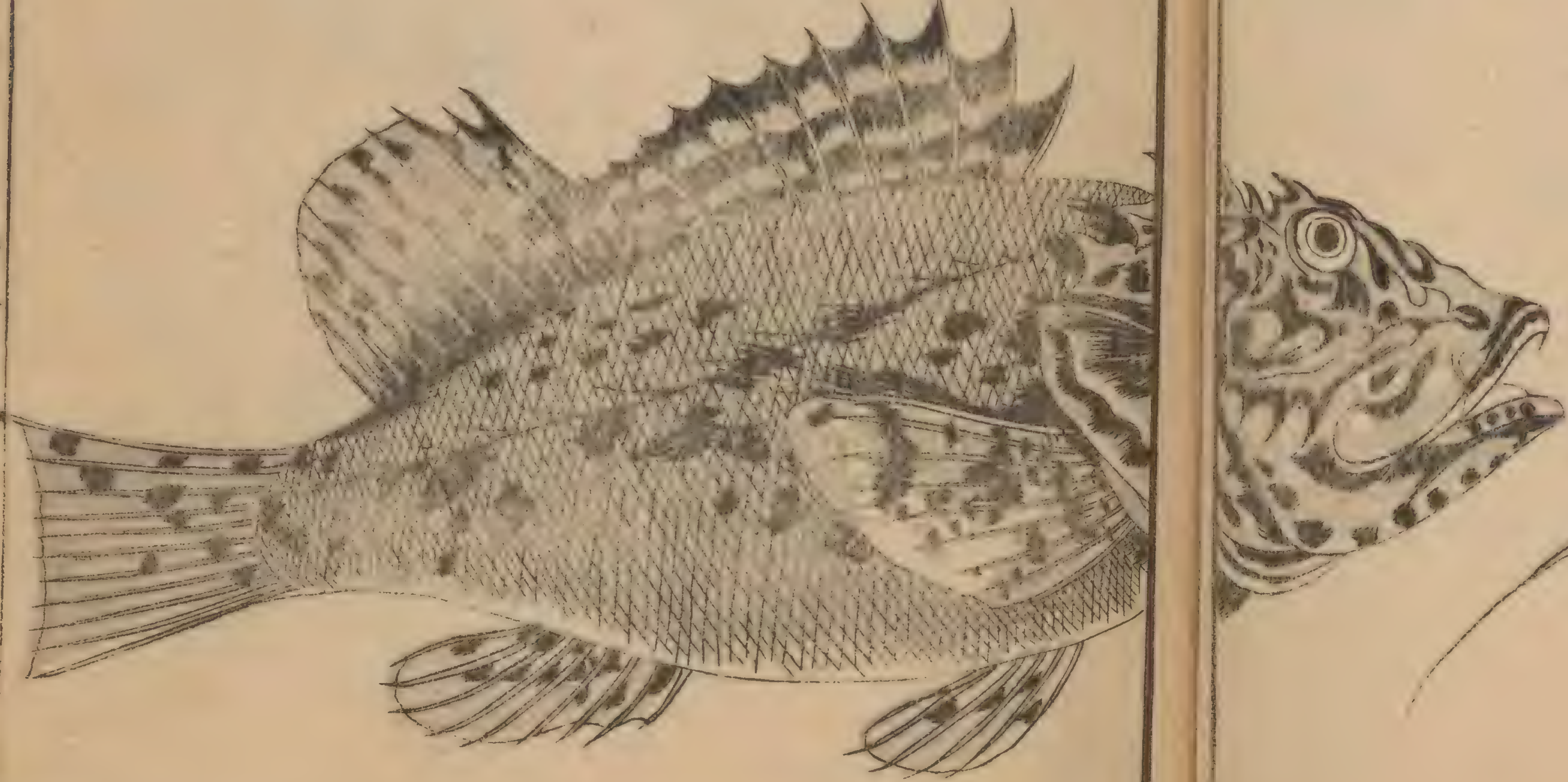
鱵魚
海鰻鱺





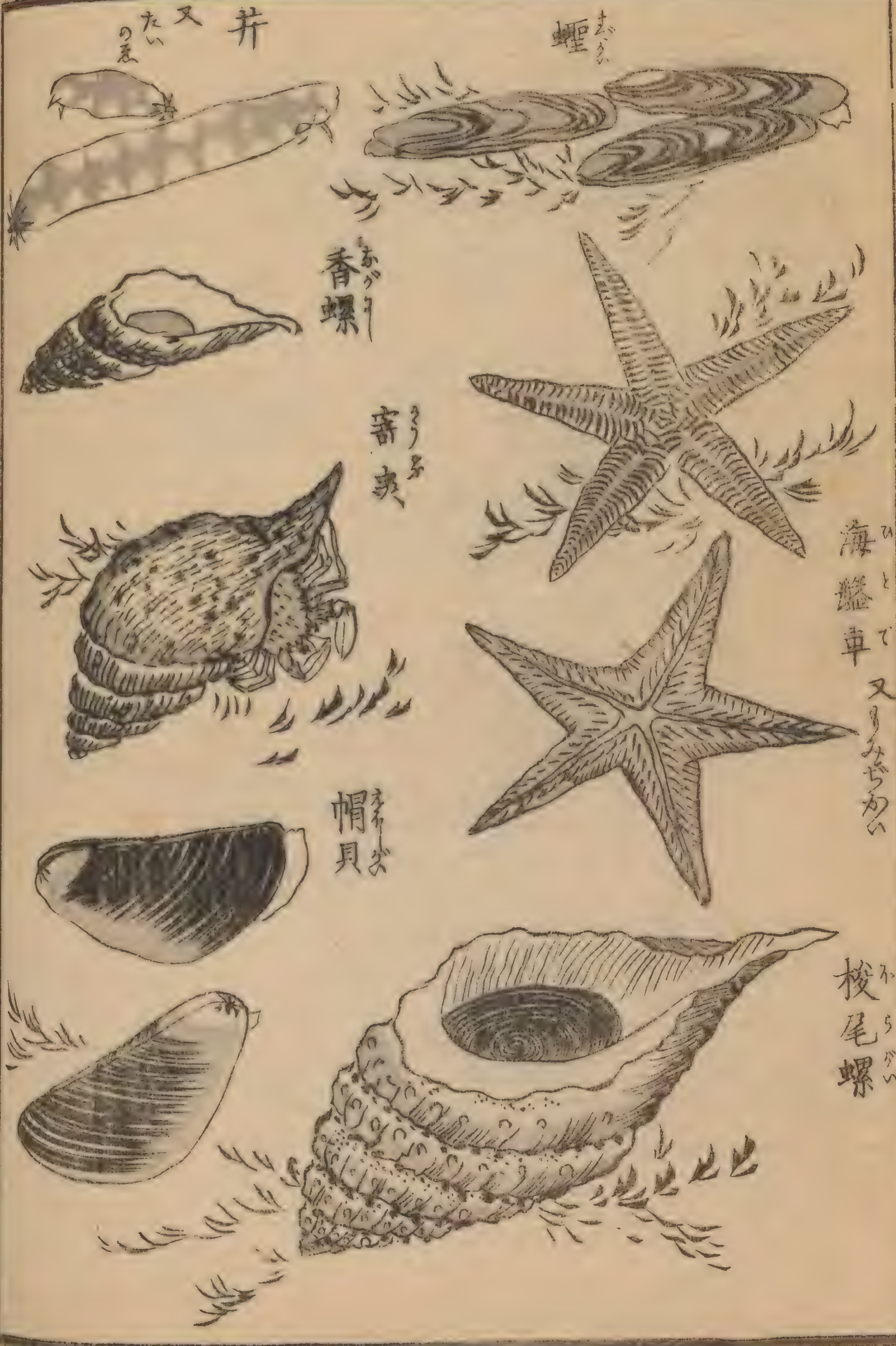


曩ニ藝陽ノ畫工岡豊彦ナル者アリ能ク動植器ヲ寫眞スルヿニ精シク亦種々ノ奇魚ヲ描キ是レヲ秘藏スルヿ久シト聞ク余遇嚴島ニ遊歷シテ彼ノ畫ヲ請求シテ之ヲ摸寫スト雖モ惜ムラクハ其名ヲ下サヾル者アリ余又之レヲ知ルヿ能ハズ然レモ方今博物學ノ盛ニ行ハレテ珍奇數多顯ルヽノ際書肆求古堂主ノ需ニ應シ描テ以テ看覽ニ供ス請以テ知識ノ筆ヲ加ヘ給ハヾ幸甚



田螺
蛤
車渠
寄居
蠘

西施舌
貝子
草鞋蠣
嶋蟹
螺螄


蟶
井
又
香螺
寄居
帽貝
海盤車
又
梭尾螺

蜊
硨磲
鳥貝
蚶
淡菜
半邉蚶

蜆
玉珧
烏貝
河蟹
嫁皿

鸚鵡貝
蝛
石鼈
まんがう貝
蛎
鶏心螺
筍貝
琵琶螺
きせるがい

蛳
蚶
拳螺
石決明

鱘魚
魚虎
團扇河豚
ひいか
鎖管
望潮魚

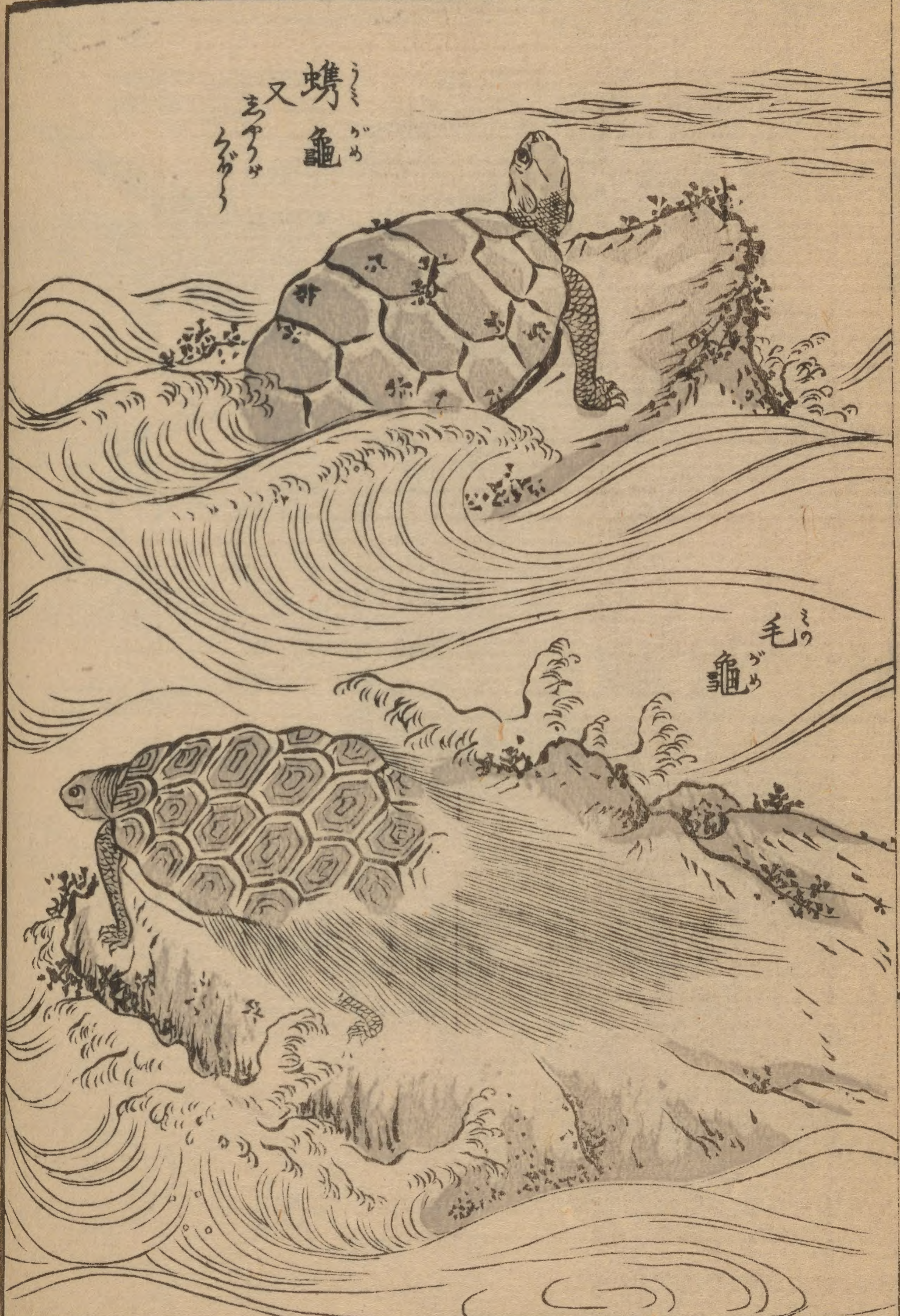
鰷（せいご）
雙髻鯊（しゆもくざめ）
鰯
[illegible]魚（かハはき）
大口魚（たら）

木匀鯆（しびれえひ）
天狗鯛（てんぐだい）
鸚哥魚（あうぶだい）
旗魚（かぢとをし）

水くらげ
泥筍
陽遂足
雲丹
糸巻貝
海燕

奇沙子
虹魚
海膽
青螺
鰒魚
鱟

[illegible]堂画譜



求古堂蔵

膃肭獣
おつとせい
海獺
らつこ

キツキンチヤク
海蛇
うみへび
海驢
あしか

Meiji, 12.

潜龍堂畫譜
花鳥之部 魚之部 出版
山水之部 艸花虫之部 人物之部 獸之部 近刻

京傳 馬琴 三馬
稗史三大家文集 全二冊

萩原秋巖輯 萩原乙彦譯文
賴山陽墨寶帖 全二冊

徳川景山撰
明倫歌集 全五冊

本居大人著 山嵜美成頭書
頭書 古今和歌集遠鏡 全八冊

雲烟子編
近世名家書画談 全八冊

新撰 繪入
和漢洋年歴箋 銅版折本 全一帖

明治十二年十二月廿五日
版權免許
明治十三年一月出版

畫工 瀧澤清
荏原郡品川本宿十二番地

出版人 松嵜半造
浅草區浅草須賀町二十四番地

754
.T3